

旧優生保護法補償金等支給制度

	対象者	支給額
補償金	旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた本人 および手術を受けた本人の配偶者(事実婚を含む) ※死亡している場合は遺族(配偶者・子・父母・孫・ 祖父母・兄弟姉妹・曾孫又は甥姪)	本人 1,500万円 配偶者 500万円
優生手術等 一時金	旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた本人で生存 している方(遺族からの請求はできません) ※補償金とあわせて受け取れます。	320万円
人工妊娠中絶 一時金	旧優生保護法に基づく人工妊娠中絶等を受けた本人で 生存している方(遺族からの請求はできません) ※優生手術等一時金を受け取った場合は受け取れません。	200万円

昭和23年(1948年)から平成8年(1996年)の間、障がいや病気を理由に
優生手術や人工妊娠中絶などを受けた方が対象です。

[請求期限:令和12年(2030年)1月16日]

福岡県旧優生保護法補償金等受付・相談窓口

092-632-5175 9:00~17:15 ※月~金曜日(土日祝、年末年始除く)

FAX 092-643-3260 kyuyusei@pref.fukuoka.lg.jp



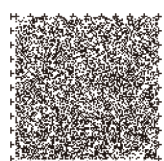
請求手続きは弁護士によるサポート(無料)も受けることができます。お気軽にご相談下さい。

支援者の皆さまへ ~私たちにできること~

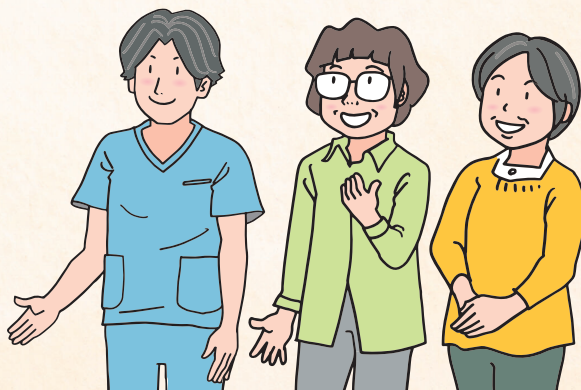
優生手術を受けられた方やご家族は、つらい、思い出したくないなどの気持ちを抱え、苦しんで
いらっしゃる方も多くいます。また、中には当時のことを思い出せない方もいます。

ご本人のつらい経験に寄り添い、補償金制度をお伝えできるのは、支援者の皆さまです。少しでも
手術を受けた可能性に気づいた場合は、ご本人・ご家族のお話しの耳を傾け、補償金制度を
ご案内ください。皆さまからのお声かけが、旧優生保護法により苦しんでこられた方々の被害の回復
に向けた一歩となります。

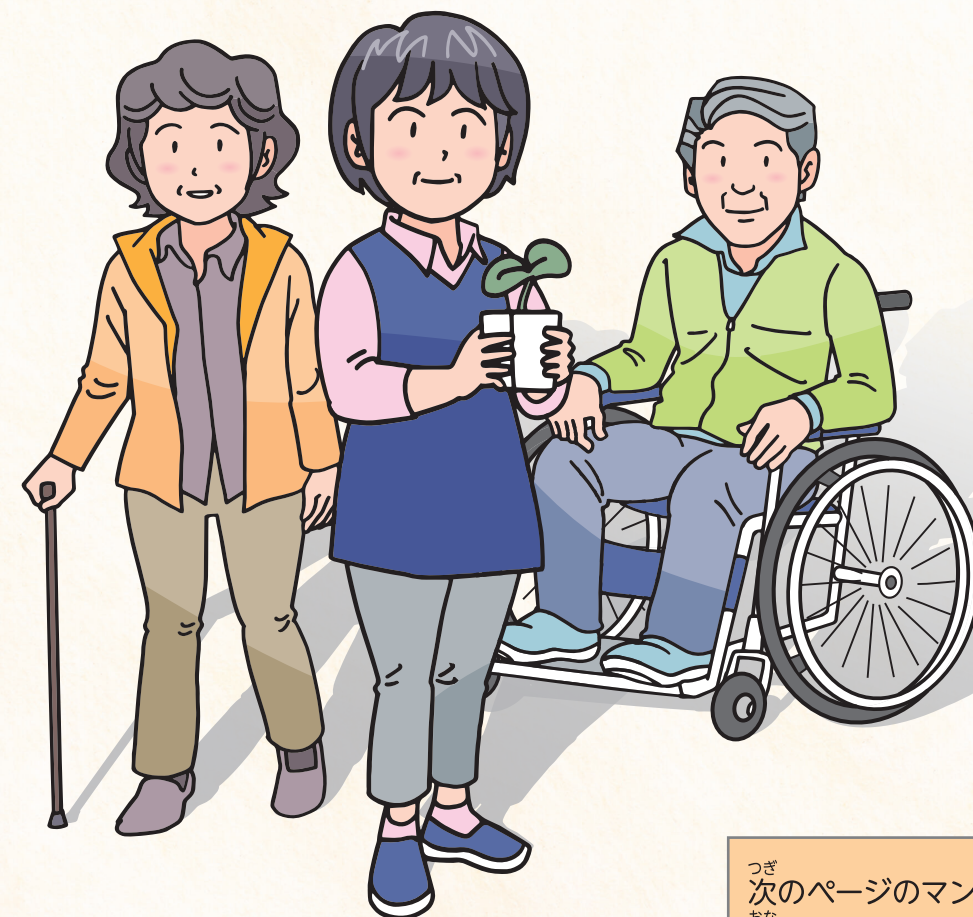
▼音声コードによるご案内▼



発行：令和8年(2026年)3月
福岡県 福祉労働部 子育て支援課



優生手術(こどもができなくなる手術)などを受けた方やそのご家族へ



つぎ
次のページのマンガと
おな
同じようなできごとや
おも
思いをしたことはありませんか?

障がいや病気を理由に、こどもができなくなる手術などを
受けた方に対し、心より謝罪します。

被害を受けた方々の心と体が受けた苦しみに対する償いとして、お金が支払われます。

ご家族へ そのつらい経験は、あなたのせいではありません

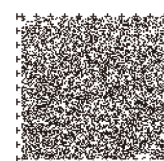
こどもができなくなる手術を受けたのは、当時の国がつくった「優生保護法」によるものであり、
ご家族の責任ではありません。

優生手術や人工妊娠中絶を受けられた可能性に気づいた場合は、裏面の相談窓口へご相談ください。
※秘密は守られます。



福岡県
Fukuoka Prefecture

▼音声コードによるご案内▼



このような、経験をされていませんか…？

これまでの自分の経験を思い出してみて、少しでも心当たりがある場合は、身近にいる頼れる人(家族や支援してくれる人)に相談してみましょう。また、県の相談窓口もあります。

※ 経験① 経験② 経験③ のマンガの内容は被害を受けた人の経験がもとになっています。これ以外にも、さまざまな経験をした人がいます。

● 優生保護法ってどんな法律だった？

～昔、日本が戦争していた頃～

戦争に勝つためにこどもをたくさん産みましょう！

～戦争に負けた後～

国を立て直さなければならぬ！優秀な人だけを増やしましょう！

昭和23年(1948年)、優生保護法ができました。

平成8年(1996年)までこの法律は続き、優生手術は約2万5千人、人工妊娠中絶は約5万9千人もの被害者が出ました。

障がいのある人や病気の人にこどもを産ませないようにする法律でした。

各地でこどもができなくなる手術がたくさん行われました。

当時、教科書でも障がいのある人の結婚を制限することが書かれていました。旧優生保護法は障がいのある人にとって差別的な法律でした。令和6年(2024年)には、最高裁判所で旧優生保護法は憲法に違反していたとされ、当時の首相や大臣が謝罪しています。

経験① 家族と別れて集団生活をした人

わたしは、お父さん、お母さん、お兄ちゃんと一緒に暮らしていた。

16歳のころ、家族と離れて、いろんな人たちがいる施設で暮らすことになった。

お母さん、お父さんと施設の人が何か話をしていて、お母さんは泣いていた。

いまでも、おなかにキズがのこっている。あの時、なにをしたんだろう…。

そのあと、病院に行った。

お医者さんからは何も説明されずに、おなかにキズをつけられた。

わたしは、お父さん、お母さん、お兄ちゃんと一緒に暮らしていた。

16歳のころ、家族と離れて、いろんな人たちがいる施設で暮らすことになった。

お母さん、お父さんと施設の人が何か話をしていて、お母さんは泣いていた。

いまでも、おなかにキズがのこっている。あの時、なにをしたんだろう…。

そのあと、病院に行った。

お医者さんからは何も説明されずに、おなかにキズをつけられた。

▼ 音声コードによるご案内 ▼

障がいのある人が入所する施設では、入所者同士での妊娠を避けることなどを目的として優生手術を勧めることがありました。

本人には詳しい内容を説明せずに優生手術を行うこともありました。

▼ 音声コードによるご案内 ▼

経験② 病院に長く入院していた人

ぼくは長い間、病院に入院していた。

入院中は、話せる知り合いもできた。

お母さんとお父さんが来て、お医者さんとなにか話をしていた。

手術後はとても痛かった。本当に盲腸の手術をしたのかな。

しばらくして、盲腸の手術といっしょにこどもができなくなる手術をさせられた、と聞かされた。

ぼくは長い間、病院に入院していた。

入院中は、話せる知り合いもできた。

お母さんとお父さんが来て、お医者さんとなにか話をしていた。

手術後はとても痛かった。本当に盲腸の手術をしたのかな。

しばらくして、盲腸の手術といっしょにこどもができなくなる手術をさせられた、と聞かされた。

精神科のある病院に長く入院している患者に対しても、優生手術が行われることがありました。手術を受ける際に、盲腸や痔、便秘などと説明して、手術されることもありました。

経験③ 赤ちゃんを産むことをやめさせられた人

わたしは生まれつき耳が聞こえない。

同じように、耳がきこえない〇〇さんと仲良くなって、結婚した。

しばらくして、妊娠した。

だめ！でも、家族は産むことに反対。

ろう学校の先生や親戚に相談したら、「法律でそうになっているから、産まない方がいい」と言われたのよ…。

病院に連れていかれて、産むのはあきらめることに。

わたしは生まれつき耳が聞こえない。

同じように、耳がきこえない〇〇さんと仲良くなって、結婚した。

しばらくして、妊娠した。

だめ！でも、家族は産むことに反対。

ろう学校の先生や親戚に相談したら、「法律でそうになっているから、産まない方がいい」と言われたのよ…。

病院に連れていかれて、産むのはあきらめることに。

▼ 音声コードによるご案内 ▼

病気や障がいを理由に人工妊娠中絶をさせられることも多くありました。

例えば、ろう学校などの障がいのあるこどもが通っていた学校でも、相談があった卒業生や保護者に対して、優生手術や妊娠した際の人工妊娠中絶を勧めることがありました。また、説明もなく人工妊娠中絶といっしょに優生手術をされた人もいます。

▼ 音声コードによるご案内 ▼